

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL : 0173-57-2001

FAX : 0173-57-4929

E-mail : t_gijyutu_c@maff.go.jp

着任ご挨拶 § お世話になります § (小笠原所長)

4月1日付けで、森林技術・支援センター所長を拝命しました小笠原孝です。

青森県内の勤務は7年振り、森林技術・支援センターには森林技術センター時代も含め2度目の勤務となりますがよろしくお願いたします。



所長 小笠原 孝

さて、政府の掲げる林業の成長産業化の実現に向けては、主伐期を迎えた人工林等の循環利用、新たな木材需要の創出、森林の多面的機能の維持向上等具体的な施策として提示されています。しかしながら、成長産業化の実現を推し進める上で林業の低コスト化は避けては通れない課題となっており、当センターにおいても地域に関わる課題等について技術開発し、民有林への技術支援等を念頭に組み組んでいきたいと考えております。

また、本センターはヒバ林地帯に位置し、ヒバ林等についても長期にわたり試験研究を続けてきております。これらの研究も継続しつつ、地域で求められている林業技術の開発・普及に向け関係機関と情報交換・情報の共有を図り進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

平成30年度 新規技術開発課題を紹介します！

1. 特定母樹挿し木コンテナ苗による低コスト造林試験（平成30年度～平成34年度）

昨今、下刈り等の造林初期の作業負担やコストの削減が課題となっている。下刈りの回数を減らすなどの省力化等の実証を行っており、今後、雑草木の被圧から早く脱出できる成長の早い苗木の実証も必要となっている。東北育種場では成長に優れた特定母樹の開発を行っているが、造林地での実証が行われていない。

今回、宮城県が試験研究の中で育成し東北育種場が開発した特定母樹の挿し木コンテナ苗を国有林での植栽試験に活用できる見込みとなったことから、本試験では、特定母樹の挿し木コンテナ苗の特定母樹の成長量、活着率の調査をするとともに下刈り回数の削減による実証（通常の下刈り回数5～6回程度を3回程度で実施しコスト削減効果を検証）を行います。

今年度からの新規技術開発課題になり、今月から調査について本格的に開始する予定です。



2. 2条、3条による下刈省力と多様な森づくり（平成30年度～平成34年度）

人工林資源の充実に伴い今後、主伐・再造林の時期を迎える。しかしながら、森林資源の持続的機能発揮のためには低コスト林業の必要性が高まっている。中でも下刈は、初期造林費用において比率が高く、労働強度も高いため、省力化が課題となっている。下刈省力の手法として、回数の削減、実施面積の削減、下刈実施基準の見直し、大苗の使用等が試験されている。また、造林初期費用や間伐経費等を抑制する方法として低密度植栽が実施されているが、植栽間隔が広くなることから、林冠閉鎖が遅くなり、下刈の長期化、枝付き性等が課題とされている。一方、森林に対しては、森林の多面的機能の持続的な発揮を確保しつつ、多様化する国民のニーズに responding していくため、針交混交林化や広葉樹林化、長伐期化等により多様な森林へ誘導していくことが求められている。

従来方形植えで実施していた低密度植栽を2条植え、3条植えで実施し、下刈実行面積の削減を図ります。また、下刈等を実施しない区域では、ぼう芽力等を活用した天然更新により広葉樹と人工林をモザイク的に配置した針広混交林を造成します。

今年度からの新規技術開発課題になり、今月から調査について本格的に開始する予定です。

森をさんぽ

増田です！



森林技術専門官
増田 悠介

今年は雪が多く降りましたが、春先の気温が高く、雪解けがかなり進んでいます。春の植物が見頃を迎えています。その中でカタクリが綺麗な花を咲かせています。

カタクリは古くから知られており、古語で堅香子（かたかご）と呼ばれ、万葉集の中では大伴家持が「もののふの 八十娘子らが 汲みまがふ 寺井の上の かたかごの花」と詠んでいます。

また、現在ではジャガイモのデンプンですが、昔は片栗粉の原料として使用されていました。

そんなカタクリですが、なんと花をつけるまでに約7年かかると言われています。今咲いているカタクリは7年以上かかっていると思うと感慨深いですね。

この春は見頃を迎えるカタクリに会いに行ってみてはいかがでしょうか。



編集後記

4月の人事異動で小笠原所長に替わり、気持ちも新たに平成30年度がスタートしました。2回目の任地で地元であることなど、当センターを熟知していることは職員に安心感を持たせてくれています。

今年度は9月に遠野支署において当センター現地検討会を予定しております。また、各試験地の関係機関の皆様、今年度もよろしくお願ひします。新規課題を紹介していますが、ホームページにも掲載しております。

4月に入り、気温の変化が激しすぎですね、皆さま体調管理には気をつけて下さいね！